

時間	本庁の状況	上下水道局の状況	水道	下水	危機管理担当
9:00	・大雨（浸水害）警報発表	・緊急出動班招集（①、④班） ・災害対策本部等の設営開始		（前日より対応） ・各ポンプ場配置 ・各水路のスクリーン状況の確認	
9:30		↓ ・災害対策本部等の設営開始		・渚水みらいセンターにおいて水位が上昇、受入れ水量の調整。 ・北部貯留槽・香里貯留槽へ受入要請を受け、開始	
10:00	・情報収集体制 ・情報収集体制会議	・情報収集体制	・市民より断水、濁り水が発生していると通報あったため、 水道協議班 より 現場 へ給水車準備を指示 ・市民より穂谷川にかかる口径900mmの水管橋が崩落していると連絡を受け、 水道協議班 より 現場 へマッピングシステムを用いて、断水地域の特定、絞込みを開始	・土のう要請対応（局で対応）	
10:10			・ 水道協議班 より 現場 へ崩落している水管橋の調査のため出動・確認 ・ 水道協議班 より 現場 へ各水管橋（穂谷川にかかる全て）の状況把握のため出動・確認	・市民からの通報に対して 下水道協議班 は臨機応変に 現場 に指示を出す（状況終了まで継続）	・水管橋が崩落し、断水・濁り水が発生していることの広報活動を開始（HP、line、広報車）
10:20	・災害対策本部設置	・災害対策本部設置		・土のう要請対応（業者へ委託）があったため、下水道協議班より危機管理担当へ指示（状況終了まで継続）	・給水車の出動準備、協定先（ジェネッツ、水道屋サービス、管工協会）へ給水活動準備の要請 ・土のう業者へ委託（状況終了まで継続）
10:30	・土砂災害警戒情報発表		・ 水道協議班 より 現場 へ主要な水道施設（配水池等）の被害状況の確認指示あり、調査開始		
10:45		・局内本部会議	↓ ・ 現場 より 水道協議班 へ水管橋の破損を確認、調査の結果、口径900mmの水道管が何M必要か報告受けた		
10:55	・急傾斜地崖崩れ	・管理者、部長3Fへ移動	↓ ・ 水道協議班 より 現場 へ水道管を手配するよう指示		
11:00	・第1回対策本部会議	↓ ・第1回対策本部会議	↓ ・各 現場 より 水道協議班 へ報告、報告に対して 災害対策本部 は臨機応変に 現場 に指示を出す		
11:10					
11:20					・協定先（Kubota、栗本鐵工所）へ水道管の手配ができるか確認
11:30	・担当者会議等				・断水地域が特定でき次第、給水車の出動
11:40	↓				
11:50	↓				・日水協へ口径900mmの口径の水道管の手配、給水車の応援を要請
12:00	・昼食	・昼食			
12:45		・局内本部会議	↓		・給水車の出動、備蓄水の配布（訓練終了まで継続して行う）
12:55		・管理者、部長3Fへ移動			
13:00	・洪水警報発令 ・第2回対策本部会議 ・福祉施設から入所者の避難に関する支援要請	・第2回対策本部会議			・日水協より要請（水道管、給水車）の回答を受け、 水道協議班 へ報告
13:10			・水道管の段取りができたので、施工業者の手配を指示		・枚方市へ応援を依頼（給水車の先導）
13:20					
13:30	・担当者会議等				
13:40	↓				
13:50					
14:00	↓				・他市からの給水車の応援が到着、病院等への給水を指示
14:10		・局内本部会議			
14:25		↓ ・管理者、部長3Fへ移動			
14:35					
14:40	・第3回対策本部会議 ・穂谷川河川水位避難判断水位を超過	・第3回対策本部会議			
14:50	↓	↓			
15:00					
15:10					
15:20	・状況終了	・状況終了			
15:30					
15:40	・講評等	・講評等			
15:50	↓	↓			
16:00	撤収	撤収			

時間	状況	水道	下水	危機管理担当
9:00	・緊急出動班招集（①、④班） ・災害対策本部等の設営開始		（前日より対応） ・各ポンプ場配置 ・各水路のスクリーン状況の確認	
9:30	・災害対策本部等の設営開始		・渚水みらいセンターにおいて水位が上昇、受入れ水量の調整。 ・北部貯留槽・香里貯留槽へ受入要請を受け、開始	
10:00	・情報収集体制	・市民より断水、濁り水が発生していると通報あったため、 水道協議班 より 現場 へ給水車準備を指示 ・市民より穂谷川にかかる口径900mmの水管橋が崩落していると連絡を受け、 水道協議班 より 現場 へマッピングシステムを用いて、断水地域の特定、絞込みを開始	・土のう要請対応（局で対応）	
10:10		・ 水道協議班 より 現場 へ崩落している水管橋の調査のため出動・確認 ・危機管理担当へ水管橋が崩落し、断水・濁り水が発生していることの広報活動開始を指示（危機管理マニュアルの様式を参照してHP、line、広報車で行う） ・危機管理担当へ日水協に給水車が何台来てもらえるか確認するよう指示（断水規模は不明） ・危機管理担当へ断水地域内の透析病院および福祉施設の確認を指示	・市民からの通報に対して 下水道協議班 は臨機応変に 現場 に指示を出す（状況終了まで継続）	・水管橋が崩落し、断水・濁り水が発生していることの広報活動を開始（HP、line、広報車（何台出動させるかも検討） ・日水協へ給水車が何台来てもらえるか確認（断水規模は不明） ・断水地域にどれだけの避難所があるか確認し、終わり次第、 水道協議班 へ報告
10:20	・災害対策本部設置	・危機管理担当へ給水車（当局）の出動準備、協定先（寝屋川市、交野市、八幡市、ジェネッツ、ひらかたし水道屋サービス、日本管更生技術協会、ひらかた建設協会）へ給水活動準備を要請するよう指示 ・危機管理担当へ断水地域内の避難所の確認を指示	・土のう要請対応（業者へ委託）があったため、下水道協議班より危機管理担当へ指示（状況終了まで継続）	・給水車（当局）の出動準備、協定先（寝屋川市、交野市、八幡市、ジェネッツ、ひらかたし水道屋サービス、日本管更生技術協会、ひらかた建設協会）へ給水活動応援の要請 ・断水地域にどれだけの避難所があるか確認し、終わり次第、 水道協議班 へ報告 ・土のう業者へ委託（状況終了まで継続）
10:30		・ 水道協議班 より 現場 へ主要な水道施設（配水池等）の被害状況の確認指示あり、調査開始 ・危機管理担当より断水地域内に透析病院、福祉施設及び避難所があるかの確認結果の報告を受け、給水活動（備蓄水の配布や給水バルーンへの給水等）の検討を行う		
10:45	・局内本部会議 （終了後、管理者、部長3Fへ移動）	・ 現場 より 水道協議班 へ水管橋の破損を確認、調査の結果、口径900mmの水道管が何メートル必要か報告受ける ・給水活動（備蓄水の配布や給水バルーンへの給水等）の検討の結果、優先度の高い避難所を中心に活動を行うよう危機管理担当へ指示 ・佐藤クリニックくずは、佐藤医院及び佐藤クリニックまきのの透析患者について、系列の佐藤病院へ移送をお願いするよう保健センターに依頼するよう危機管理担当へ指示 ・仕切弁を切り替え、市立ひらかた病院への配水ルートを変更するよう指示		・ 水道協議班 より避難所への給水活動開始の指示を受け、実施 ・佐藤クリニックくずは、佐藤医院及び佐藤クリニックまきのの透析患者について、系列の佐藤病院へ移送をお願いするよう保健センターに依頼
10:55		・水管橋の調査結果を受け、 現場 に止水及び両端にある仕切弁の操作は可能か確認するよう指示 ・ 水道協議班 にて仮配管による応急復旧が可能かどうか検討し、可能との結論に至ったので、危機管理担当へ協定先（Kubota、栗本鐵工所）及び日水協へ口径900mmの水道管の手配を要請を指示		・協定先（寝屋川市、交野市、八幡市、ジェネッツ、ひらかたし水道屋サービス、日本管更生技術協会、ひらかた建設協会）が到着、給水活動にあたってもらうよう指示 ・協定先（Kubota、栗本鐵工所）及び日水協へ口径900mmの水道管の手配ができるか確認
11:00	・第1回対策本部会議	・ 各現場 より 水道協議班 へ報告、報告に対して 災害対策本部 は臨機応変に 現場 に指示を出す		
11:10		・ 現場 より水管橋の両端の仕切弁の操作が可能と報告を受ける		
11:20				
11:30				
11:40				
11:50		・危機管理担当より協定先にて口径700mmの水道管の段取りができると報告を受けたので、 水道協議班 にて口径700mmの水道管で仮配管による応急復旧が可能か検討		・日水協より水道管を段取りできないと連絡を受ける ・協定先（Kubota、栗本鐵工所）より口径900mmは厳しいが、口径700mmの水道管なら段取りできると連絡を受けたので、 水道協議班 に報告 ・日水協より給水車を70台準備できると報告を受け、 水道協議班 へ報告
12:00	・昼食	・ 現場 より 水道協議班 へマッピングシステム解析にて、絞り込み及び断水地域特定できたとの報告を受ける ・危機管理担当より日水協は給水車を70台準備できると報告を受け、断水地域を考慮した結果、給水車70台出動してもらうように要請を指示		・日水協へ給水車70台出動してもらうように要請
12:45	・局内本部会議 （終了後、管理者、部長3Fへ移動）	・水道協議班にて給水車70台の給水活動にあたってもらう場所・施設の割り振りを検討（福祉施設や病院） ・マッピングシステム解析にて絞り込みが完了したことに伴い、 水道協議班 より 現場 へ仕切弁の操作を依頼し、絞り込みを開始するよう指示		
12:55		・給水車70台の割り振りの結論が出たため、危機管理担当へ枚方市に先導の応援を依頼 ・ 水道協議班 にて口径700mmの水道管で仮配管による応急復旧が可能との結論に至ったので、危機管理担当に手配するよう指示、また、どれ位の期間で到着するのかも確認するよう指示		・枚方市へ先導の応援を依頼 ・協定先（Kubota、栗本鐵工所）に口径700mmの水道管を段取りするよう依頼、またどの位の期間で到着するのかを確認
13:00	・第2回対策本部会議	・危機管理担当より口径700mmの水道管は4日後に届けられると報告を受けたので、 水道協議班 より 現場 へ施工業者の手配を指示		・協定先（Kubota、栗本鐵工所）より口径700mmの水道管は4日後に届けられると連絡を受けたので、 水道協議班 へ報告 ・枚方市へ応援を依頼（給水車の先導）
13:10				
13:20				
13:30		・ 現場 より施工業者の手配ができたとの報告を受けたので、 水道協議班 にて具体的な復旧工事計画を検討		
13:40				
13:50		・危機管理担当より枚方市の先導の応援が到着した旨の報告を受ける		・枚方市の先導の応援が到着した旨を水道協議班へ報告
14:00		・危機管理担当より日水協へ応援を要請した各市からの給水車が到着した旨の報告を受け、給水活動にあたってもらうよう危機管理担当に指示を出す		・日水協へ応援を要請した各市からの給水車が到着した旨を水道協議班へ報告（70台中35台）
14:10		・ 水道協議班 にて、具体的な復旧工事計画を検討した結果、水道管が到着してから9日後に工事が完了し、15日後には通水が完了し、断水解消となる目処が立つ		・枚方市の先導担当及び各市給水車に給水活動にあたってもらうよう指示を出す
14:25	・局内本部会議 （終了後、管理者、部長3Fへ移動）			
14:35		・ 現場 より仕切弁の操作が完了したとの報告を受ける		
14:40				
14:50	・第3回対策本部会議			
15:00		・給水活動の状況を見ながら、危機管理担当より報告のあった新たに到着した各市からの給水車に給水活動にあたってもらうよう指示を出す		・日水協へ応援を要請した各市からの給水車が到着した旨を 水道協議班 へ報告（70台中50台）
15:10				・枚方市の先導担当及び各市給水車に給水活動にあたってもらうよう指示を出す
15:20	・状況終了			
15:30				
15:40	・講評等			
15:50				
16:00	撤収			

時間	状況	災害状況	事象		危機管理担当	
5:30		・大雨・洪水注意報	(前日より緊急出動班(2B、2C)で対応) □各ポンプ場配置済み □各地区へ土のう配布済み □各水路のスクリーン状況の確認			
6:00	・緊急出動班招集	・大雨・洪水警報				
7:00	・情報収集体制		□下水道施設維持課より赤岩室長へ各ポンプ場及び各水路のスクリーン状況の報告			
8:00	・避難所開設準備	・土砂災害発生(穂谷)	□水みらいセンターにおいて水位が上昇、受入れ水量の調整の報告を受ける □土砂災害について危機管理室より情報提供あり、マッピングシステムにて埋設管確認。 ※緊急出動班でマッピングシステム操作(埋設管の確認)を対応。 ①土砂災害地域周辺の管路を確認。 ②浄水課操作室へ配水池流出量の変化を確認してもらったところ、流出水量に変化がないので土砂災害の影響での水道管の破損はないと断定。		□水みらいセンターより報告を受け、北部貯留槽・香里貯留槽へ受入要請を指示	
9:00		・大雨(土砂災害警戒情報)・洪水警報	□土砂災害(穂谷)について、 <u>水道管には影響なしと判断(上記①②で判断する。)</u>			
10:00	・局の災害対策本部設置		□局の災害対策本部設置 ※緊急出動班から移行するため、職員の配置を変更し体制を整える。			
10:30～10:50		・土砂災害発生(岡南町)	□市民及び危機管理室からの状況付与(枚方市岡南町にて急傾斜地でのがけ崩れ発生) ※近くで大きな音がした後、家の水が出ないのですぐ来てほしい。 ①住所、氏名、連絡先の確認後、マッピングシステムで水道管路を確認。 ②水道協議班にて調査方法(元栓の不具合、水道本管の破損など)を検討。 ③給水活動が必要となった場合の検討。 □【水道協議班と土木部との情報連携】 【確認事項】土木部の内線番号を調べておく ※土木部職員の現地への出動状況、道路状況、土砂崩れの範囲などを聞く ※大雨、土砂災害の中でどのように対応させるか。(現地状況を把握するため土木部と連携して調査班と情報を共有する。他部署の対応内容、車両通行止め、2次災害の予測、通報者の避難状況等) ※断水の原因を確認するため、どのような調査ができるか。引込管、水道本管の調査をどうするか ※2次災害で調査に危険が及ばないか把握しておく。(土木部、調査班との連絡を取り指示する。) □危機管理担当から危機事象が発生したことを大阪府健康医療部、警察・消防、その他関係機関へ通報を行うよう指示 □各ポンプ場より下水道協議班へ報告を受ける。	□	□危機管理室からの状況付与の内容確認	
				□		

時間	状況	災害状況	事象		危機管理担当	
10:50	・局内会議		□第1回対策本部会議に報告する内容 ①ポンプ場への職員配置状況、各水路のスクリーンの確認状況、土のう要請への対応状況等 ②穂谷地区で発生した土砂災害に伴う水道管への影響はなし。（浄水課配水量の変化なし） ③岡南町で発生した土砂災害近辺の1戸から水が出ないとの通報があったので、水道協議班と土木部とで情報共有しながら、水道修繕部の現場への出動について検討中。 ④給水活動については、給水車などの出動の準備はする。	□		□
11:00～11：30	・第1回対策本部会議		□水道協議班にて、土木部と土砂災害状況を確認。 □土木部と情報共有した結果、水道工事部から水道補修部（復旧修繕班）へ土砂災害発生（岡南町）地区に出動するよう指示。 □水道補修部（復旧修繕班）から水道工事部へ現場へ到着した旨を報告する。 □水道工事部と現場の水道補修部（復旧修繕班）とで情報共有を行う。 □水道工事部より水道補修部（復旧修繕班）へ水が出ない家を訪問し漏水確認。 □2戸からの水が出ないとの連絡が入る。	□		
			□水道補修部（復旧修繕班）より本管での漏水音調査は土砂と大雨の影響により不可能との報告を受ける。 □水道協議班にてマッピングシステムによる埋設管の種類の確認。 □埋設管の種類の確認完了。結果を水道工事部へ報告する。（原因を考える。）	□		
			ヒント ①断水か所の確認。 ※本管であれば他の家からも通報がある。3戸なので引込管漏水を疑う。引込管が漏れやすい管種かどうか確認する。 ②土砂災害による埋設管の確認。 ※災害現場が大規模（道路や家屋が崩れている）であれば、本管の破損も考える。 ※浄水課操作室へ配水池流出量の変化を確認してもらったところ、流出水量に変化がないので土砂災害の影響での水道管の破損はないと断定。 ③水濁りの確認。 ※本管の破損であれば、水濁り情報も入っている。 ④近辺住宅の給水管の材質の確認。 ※①と同じ	□		
			検討事項【協議班と水道補修部（復旧修繕班）とのやり取り】 ⑤漏水箇所を特定するにはどうするか。 ※「水がでない」の通報が入った時点で確認しているが、断水範囲を拡大するため再確認し、併せて水濁り範囲をシステムで解析しておく。（水道工事部（調査排水班）の準備、何人、何班、どの地域でどの範囲か） ※大雨、土砂災害を考えると特定は困難である。一部の本管を止めてみて漏水音の違いで確認する。 ⑥大雨、土砂災害の中、漏水修繕をするのか。 ※⑤と同様に危険を伴うので土木部と連携を図りながら漏水箇所及び修繕方法を検討する。 ⑦そのままにしておくか、周辺の管路を止めて漏水箇所を特定するか。			
			⑧止めた場合の水濁りの影響はどの程度か ⑨影響範囲に対応する水道工事部（調査排水班）の体制をどうするか。 ⑩断水箇所への広報はどうか。 連携【協議班と土木部とのやり取り】 ⑪断水する場合、戸数、給水方法、現場状況について、対応職員と情報共有。 ⑫土木部等に連絡して水道の被害状況、対応状況を共有する。	□		

時間	状況	災害状況	事象		危機管理担当	
11:40			<div>□漏水原因を検討した結果、土砂災害により本管からVP管で接続している3戸で漏水していることが判明。</div> <div>□漏水による2次災害を防ぐため、水道工事にてマッピングシステムによる仕切弁①②の2か所を閉めた時の影響の解析を行う。水道補修部（復旧修繕班）へは仕切弁閉止のため現場で待機するよう指示。併せて、周辺の病院状況等の確認</div>	□		
11:50			<div>□市民より土のう要請。</div> <div>□マッピングシステムの解析結果、水濁りの影響が少ないので、水道工部より水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁①②の2か所の操作は可能か確認するよう指示。なお、周辺の病院状況等については、問題はないことは判明。</div> <div>□水道補修部（復旧修繕班）より水道工部へ仕切弁②の操作は難しいとの報告を受ける。 ※当初、検討した仕切弁①②の2か所を閉めると21戸の断水であるが、災害現場対応車両・土砂などがあり仕切弁②が確認できないため、手前の①③④の3箇所で閉止することとなり、断水範囲は42戸となる。</div> <div>□水道工部にて再度マッピングシステム解析の実施。周辺の病院状況等も再確認。 ※現場状況がわかったことによる再解析及び断水範囲が広がるため周辺病院等の影響範囲の再確認。</div> <div>□危機管理室に避難していない世帯を確認及び穂谷地区で発生した土砂災害の状況確認。 ※危機管理室からの情報を基に水道協議班にて給水車の手配及び給水方法の再確認。 ※穂谷地区の土砂災害については変化なしとの回答を受ける。</div> <div>□給水活動が必要となった場合を検討。</div>	□		
						□
12：00～13：00			お昼休憩			
13:05	・局内本部会議		<div>□局の本部に報告する内容</div> <div>①ポンプ場への職員配置状況、各水路のスクリーンの確認状況、土のう要請への対応状況等</div> <div>②穂谷地区の土砂災害に伴う水道管への影響はなし。</div> <div>③岡南町で発生した土砂災害により3軒で断水しているため、今後の対応を検討中。</div> <div>断水して確認（対応）する場合42戸の可能性あります。水濁りについてはシステムで解析中です。給水活動に備え、引き続き給水車等の出動準備は行っている。</div>	□		□

時間	状況	災害状況	事象		危機管理担当	
13:15～13:35	・ 第2回対策本部会議	・ 土砂災害発生（岡山手町）	<div>□危機管理より岡南町地区で発生した土砂災害に伴う避難をしていない世帯の報告を受ける。</div> <div>□水道工事にて再度マッピングシステム解析完了。仕切弁①③④の3か所を閉めた時の影響が判明。周辺の病院状況等は問題なし。</div> <div>□水道工部より水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁①③④の3か所の操作は可能か確認するよう指示。</div> <div>□給水部にて給水計画の素案の策定、本部にて給水計画を決定。</div> <div>※大雨のため給水車の所に取りに出来ない可能性があるので、給水袋・ポリタンクで断水世帯（土砂災害に関係のない地区）に配布することを検討（給水対応人員、車両手配など）</div> <div>※断水範囲が広がったことにより、水にごりが発生する可能性に備えて給水車の出動及び出動先を検討。</div> <div>※通行止めなど道路規制を考え、どのルートで進入するかなどを検討。</div> <div>□岡山手町で発生した土砂災害地区の市民より通報あり、マッピングシステムにて埋設管確認。</div> <div>※岡南町の水道補修部（復旧修繕班）を向かわせるか、別班を現場へ向かわせるか検討。</div> <div>□土木部と連携し、現地の状況を確認。</div>	<div>□広報車を走らせるよう指示。また、HP及びLINEでも断水情報の発信。</div> <div>※断水範囲には口頭又はマイク広報とし、水濁りを伴う地域には広報車を手配する。</div> <div>□防災行政無線による広報を危機管理室へ依頼する。</div> <div>□危機管理担当でロガーを確認する</div>		
13:35			<div>□岡南町への給水計画に基づき、給水部へ軽トラックの荷台に給水タンク（10ℓ）・給水袋（6ℓ）を載せて、断水世帯への配布及び水にごりが発生する可能性に備えて給水車の出動するように指示。</div> <div>※仕切弁①②の2箇所から仕切弁①③④の3箇所の閉止による断水範囲の変更に対応する。</div> <div>□土木部との調整の結果、水道工部から水道補修部（復旧修繕班）へ現場（岡山手町）へ行くよう指示。</div> <div>□水道補修部（復旧修繕班）から水道工事に仕切弁①③④を閉めることが可能との報告を受ける。</div> <div>※仕切弁①③④を閉止することにより漏水音（漏水箇所）が消えたため、災害区域内で漏水していることが判明した。</div>	<div>□</div>		
13:45			<div>□水道補修部（復旧修繕班）から水道工事に土砂災害（岡山手町）について、影響なしとの報告を受ける。</div> <div>□（岡山手町）水道工部から水道補修部（復旧修繕班）へ帰還するよう指示。</div> <div>□（岡南町）水道工部から水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁を閉め、その後、帰還するよう指示。</div> <div>※断水で対応したため、これ以上現場チームにできないことがないため。</div> <div>□給水活動のための軽トラック及び給水車が現地到着</div>	<div>□</div>		

時間	状況	災害状況	事象		危機管理担当	
13:55～14：25			<div>□給水活動中の給水部より水道協議班に、災害現場対応車両が移動しているので、遮断弁②の操作が出来るのではないかと連絡が入る。</div> <div>□水道工事部から水道補修部（復旧修繕班）及び水道工事部（調査排水班）に再度、岡南町の現場へ向かうよう指示。</div> <div>・洗管作業日数</div> <div>※断水箇所を減少（42戸から21戸へ）させたときに水道工事部（調査排水班）による排水作業開始。</div> <div>※漏水箇所が復旧すれば、漏水修繕後の排水作業も同様に考えておく。</div> <div>□水道補修部（復旧修繕班）及び水道工事部（調査排水班）から水道工事部へ現地に到着したとの連絡が入る。</div> <div>□水道工事部から水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁②の操作は可能か確認するよう指示。</div> <div>□今後の修繕工事の計画を検討</div> <div>【土木部と連携】</div> <div>※大雨がおさまった後、土木部が土砂災害の復旧をどう進めていくのか確認。</div> <div>※漏水修繕工事ができる状態になるのはいつ頃になるのか。</div> <div>□下水道施設維持課より赤岩室長へ各ポンプ場及び各水路のスクリーン状況の報告</div>	□		
				□		□
14:25			<div>□水道補修部（復旧修繕班）から水道工事部に仕切弁②を閉めることが可能との報告を受ける。</div> <div>□水道工事部から水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁②を閉めるとともに、仕切弁③④を開けるよう指示。</div> <div>※仕切弁の操作箇所を変更したことにより、断水エリア（42戸→21戸）を縮小。</div> <div>※周辺で水にごりが発生する可能性があるため、待機中の給水車へ仕切弁の切り替え作業を行ったことを知らせる。</div> <div>□水道工事部から水道工事部（調査排水班）へ仕切弁③④を開けた箇所の洗管作業を行うよう指示</div>	□		□

時間	状況	災害状況	事象		危機管理担当	
14:30	・局内本部会議		□局の本部に報告する内容 ①ポンプ場への職員配置状況、各水路のスクリーンの確認状況。 ②現場確認にて岡山手町で発生した土砂災害については、影響なし。 【岡南町で発生した土砂災害について】 ・2次災害の防止のため、本管を断水させた。 ・仕切弁の操作箇所を変更したことにより、断水エリア（42戸→21戸）が縮小。通水に向け、洗管作業を行う。 ・給水活動については、軽トラックの荷台に給水タンク（10ℓ）・給水袋（6ℓ）を載せて、断水世帯へ配布。また、水にごりの発生に備え、給水車を待機させている。 ・今後の復旧作業については、土木部と連携しながら行っていく。 ※大雨で天候が回復するまで点検作業や掘削作業が出来ない。	□		
14:40～15：10	・第3回対策本部会議		□今後の修繕工事の計画を検討	□		□
15:20	・状況終了					
15:30						
15:40	・講評等					
15:50						
16:00	撤収					